

小山町立きたごうこども園評価「自己評価書」

令和3年2月

1 教育・保育目標

「富士のもと のびやかにあそぶ子」

かんがえる子 やさしい子 たくましい子

2 重点目標及び具現の方策

重点目標 「自分を表現できる子の育成」

具体的方策

- ・乳幼児一人一人の思いに寄り添い、その子なりの特性や発達を捉え自己発揮できる援助を工夫する。
- ・身近な人や物・事とのかかわりを大切にし、体験をとおした創意ある保育を展開する。
- ・子ども・保護者・保育者・地域との連携を図り、教育効果を高める

3 項目別評価

評価項目	項目別評価	評価の理由	職員アンケート結果	保護者アンケート結果
園目標・教育目標	B		B	A
保育計画・教育課程	B		B	A
保育指導	B		B	A
保健管理・食事	B		B	A
安全管理	B		B	A
特別支援教育	B		B	A
組織運営・情報管理	B		B	A
研修	B	コロナで自己研修に参加できなかったが、園内の研修は時間をみつけ取り組むことができた。	B	A
情報提供	B		B	A
保護者・地域との連携	B	コロナの影響で、地域の方と交流が取れなかった。	B	A

施設・設備	B		B	A
-------	---	--	---	---

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
安全管理	・安全点検をしっかりと行い、破損している部分や気になる場所など報連相をしていく。
研修	・日々の保育をすることが精一杯で、研修や教育課程の見直しや見直しをしたりすることが難しい。 ・時間をみつけ園内公開保育を行い、研修を深められた。
特別支援教育	・園の様々なことが共通理解したり、統一したりすることが十分でなく、課題も多い。

5 評価全体を通して（総評）

- ・大規模園の為、組織的な運営が十分でないことがわかった。縦と横の連携（012歳児と345歳児と、学年間）を整え、活動に見直しをもったり、共通理解をしたりしていくことが必要であると感じた。

・

総合評価	評 価 の 理 由
B	来年度の課題が明確になったので改善できるところは早急に改善していきたい。Aの項目が増えるようにしていきたい。